



Niigata Shinkin Bank

【第83期】

業務報告書

【平成21年4月1日～平成22年3月31日】

ごあいさつ



理事長

会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成21年度の事業概況につきましてご報告致します。

昨年度の日本経済の前半は足踏み状態が続きましたが、後半は政府の緊急経済対策等が徐々に功を奏し足踏み状態から一步前進した一年となりました。

新潟県経済においては、年度前半は、輸出不振・国内景気低迷の影響を受け景気は悪化を続けましたが、年度後半頃より景気は持ち直しを見せつつも、企業の先行き見通しは慎重に推移しその水準は低いものでした。

全体を通してみると、悪化が続いた前半から、公共投資の増加と好調な中国経済や各国の景気回復に引っ張られる形で後半徐々に持ち直してきた1年と言えるでしょう。

当金庫では、3か年の長期経営計画「『絆^{きずな}』発揮2009」～新たな価値の創造と地域の持続的発展を目指して～の初年度にあたり、このなかで掲げた次の5つの経営課題【 地域密着型金融の推進 経営の健全性維持 顧客満足度の向上 ガバナンスの強化 人材の育成 】に取り組み、いかなる環境下においても確固たる経営基盤を築き、地域のために必要不可欠な金融機関としての使命を果たすべく努力してまいりました。

その結果預金は、法人が流動性預金・定期性預金共に減少しましたが、個人は流動性預金・定期性預金が増加し、期末残高で2,096百万円、0.84%増加しました。

貸出金は、当年度も事業性貸出と消費者ローンの推進に力を入れてきました。事業性貸出においては、新たなお取引先の開拓や金融円滑化に関する融資に積極的に対応しました。また住宅ローンをはじめマイカーローンや教育ローン等の個人向け貸出に力を入れました。一方で、地方公共団体向けの貸出金は5,226百万円増加しましたが、事業性貸出が大幅に減少したため、期末残高は1,331百万円、0.93%の減少となりました。

収益面では、貸出金が減少したため、貸出金利息も減少しましたが、一方で預金利息は減少し、その他業務費用も減少し、また経費節減にも努めました。その結果、業務純益が1,168百万円、前期比278百万円、31.23%の増益となりました。また経常利益は438百万円となり、前期比364百万円、48.856%の増益となりました。当期純利益は395百万円で前期比8百万円、2.30%の増益となりました。

また、今期の不良債権比率は前期の5.14%から4.52%となり、0.62%改善いたしました。

迎えました平成22年度は、新長期経営計画「『絆^{きずな}』発揮2009」の2年目という重要な一年となります。経営態勢の強化による信頼性の一層の向上に心掛け、役職員全員が一丸となって業務に邁進し、コンプライアンスの推進とともに業容の拡大と適正収益の確保に努め、地域に貢献していく所存です。何卒、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

理事長 岩 杉 武

概要

名称	新潟信用金庫
本店所在地	新潟市中央区西堀通五番町855番地1 TEL(025)222-3111(代表)
創立	昭和3年3月30日
会員数	17,370人
出資金	751百万円
店舗数	23店舗
預金残高	2,492億円
貸出金残高	1,412億円
常勤役職員数	302人

(平成22年3月31日現在)

基本方針

新潟信用金庫は地域の中小企業者ならびに住民の発展と生活向上に資するため、和と堅実経営に徹し、会員、顧客、職員の繁栄に努力する。

役員

理事長	若杉 武	理事	北村 泰作
専務理事	阿部 隆	理事	白勢 仁士
常務理事	竹田 英夫	理事	村山 六郎
常務理事	佐久間 俊昭	監事(常勤)	渡邊 清
理事	本多 徳雄	監事(常勤)	菅原 俊史
理事	小出 英明	監事(員外)	池 淳一
理事	小松 茂樹		

(平成22年3月31日現在)

庶務の概要

第82期通常総代会

平成21年6月19日

ホテルイタリヤ軒において第82期通常総代会を開催しました。

報告事項

第82期(平成20年度)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

決議事項

第1号議案

剰余金処分案承認の件

第2号議案

理事11名の任期満了に伴う選任の件

第3号議案

退任理事に対し退職慰労金贈呈の件

第4号議案

役員賞与支給の件

以上いずれの議案も原案通り承認可決されました。

登記事項

平成21年4月28日

出資の総口数(15,002,100口)及び出資の総額(750,105,000円)の変更登記を行いました。

その他の事項

平成22年2月23日より
同年3月17日まで

金融庁による立入検査(金融円滑化関係)を受けました。

トピックス

平成21年4月15日～8月31日

アルビレックス新潟 応援定期預金「アルビ愛 2009」を取扱いました。

平成21年6月4日

信用金庫の日(6月15日)にちなんで、関東信用金庫協会の共同事業「献血」に役職員が協力しました。

平成21年11月13日～12月30日

冬の金利上乘せ定期預金「冬の贈り物」を取扱いました。

平成21年12月6日

アルビレックス新潟 応援定期預金「アルビ愛 2009」のお取り扱い総額に基づき、アルビレックス新潟に支援金を贈呈しました。

地球温暖化防止運動の一環として、「COOL BIZ(クール ビズ)」、「WARM BIZ(ウォーム ビズ)」を実施しました。

現金・通帳などのお預かり、ご返却について

1. 職員がお客さまから現金(小切手を含む)、通帳、証書、入出金伝票をお預かりする場合、若しくは代金取立のために有価証券をお預かりする場合には、当金庫所定の「依頼票」にお客さまから依頼日付、口座番号、おなまえ、金額、通帳等の冊数などを記入していただき、お客さまにその控えをお渡ししています。ご面倒とは思いますが、お客さま自身でご記入いただき、必ず控えをお受けくださいますようお願いいたします。
「名刺」や「メモ」等を「受取書や預り証」として使うことは職員に禁じております。

ただし、次の場合は「依頼票」の作成をお願いしておりません。

普通預金入金帳を発行している場合

(「普通預金入金帳」の収納欄に領収印を押印します。)

定期積金の集金

(職員がお客さまの「定期積金通帳」に領収印を押印します。)

当座預金の入金

(「当座勘定入金帳」の「当座預金入金控」に領収印を押印します。)

代金取立手形のお預かり

(「代金取立手形通帳」に領収印を押印します。)

2. その後、職員が現金をお届けした場合、「現金返還記録票」の金額を確認されたうえ、日付・署名・捺印をお願いします。
また、通帳、証書などをお返しにお伺いした場合、お渡ししております「依頼控票」を回収させていただきます。
3. 職員との現金、通帳、証書、入出金伝票等の授受に関して、ご不明な点、または職員に不行き届きな点などがありましたら、ご遠慮なく下記の相談窓口までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

新潟信用金庫 お客様相談室

住 所：〒951-8666 新潟市中央区西堀通五番町855番地 1

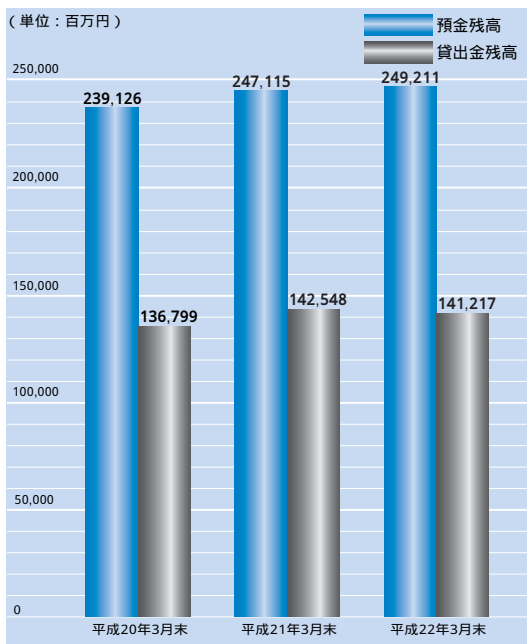
電話番号：025-222-3111

主な経営指標の推移

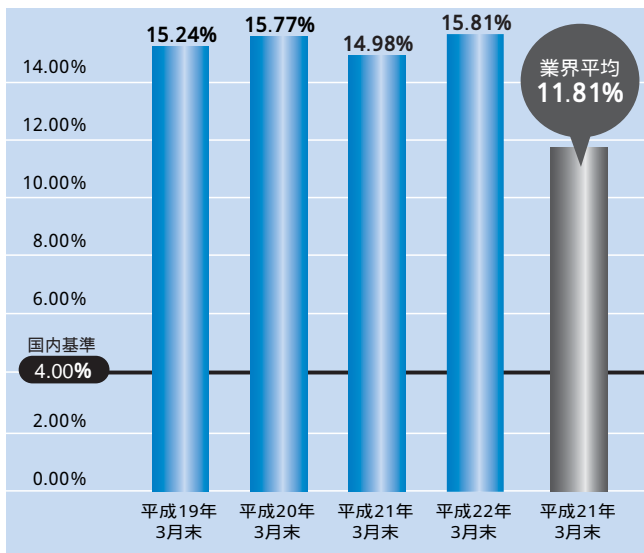
(単位:利益・千円、残高・百万円)

		平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
利益	経常収益	5,573,930	5,631,841	5,387,316
	業務純益	1,093,080	890,805	1,168,781
	経常利益	168,161	74,557	438,815
	当期純利益	333,190	386,493	395,400
残高	預金残高	239,126	247,115	249,211
	貸出金残高	136,799	142,548	141,217
	有価証券残高	66,361	63,572	69,199
	総資産額	261,003	270,667	273,623

預金残高および貸出金残高の推移

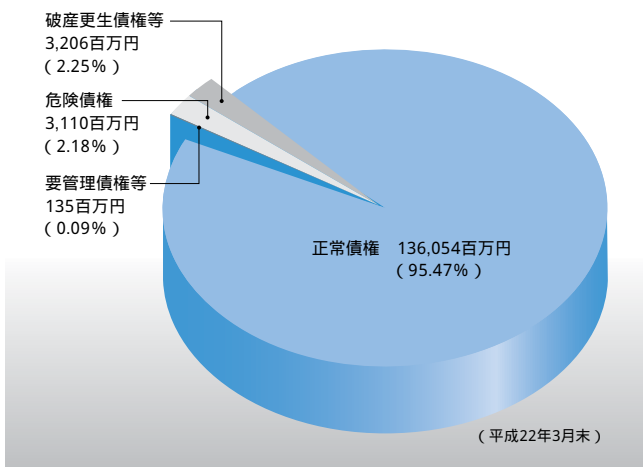


自己資本比率の推移



自己資本の額は前期比 317 百万円増加し、計算の分母となるリスクアセット等の合計は 4,263 百万円減少したため、自己資本比率が 0.83 ポイント上昇し、業界平均をはるかに上回っています。(自己資本額 18,275 百万円÷リスクアセット等計 115,591 百万円)

不良債権(金融再生法による開示債権額とその比率)



この表の比率は、金融再生法に基づき計算された債権額合計142,507百万円を分母としています。

今期の不良債権比率は、前期の 5.14 % から 0.62 ポイント改善し 4.52 % となりました。

(単位:百万円)

科 目				金 額									
(負債の部)													
預	金	積	金	249,211									
	当	座	預	金	5,279								
	普	通	預	金	60,160								
	貯	蓄	預	金	845								
	通	知	預	金	666								
	定	期	預	金	157,812								
	定	期	積	金	23,153								
	そ	の	他	の	預	金	1,292						
借	用			金	1,799								
	借	入		金	1,799								
そ	の	他	負	債	1,205								
	未	決	済	為	替	借	34						
	未		払	費	用	金	613						
	給	付	補	て	ん	備	金	160					
	未	払	法	人	税	等	106						
	前		受	収	益		95						
	払	戻	未	済	金	0							
	払	戻	未	済	持	分	7						
	職	員	預	り	金	112							
	り	一	ス	債	務		39						
	そ	の	他	の	負	債	34						
	賞	与	引	当	金	97							
	役	員	賞	与	引	当	金	9					
	退	職	給	付	引	当	金	1,385					
	役	員	退	職	慰	勞	引	当	金	136			
	睡	眠	預	金	払	戻	損	失	引	当	金	11	
	偶	発	損	失	引	当	金	10					
	再	評	価	に	係	る	繰	延	税	金	負	債	280
	債	務									保	証	1,026
	負	債	の	部	合	計							255,173
(純資産の部)													
出	資			金	751								
	普	通	出	資	金	751							
利	益	剰	余	金	16,960								
	利	益	準	備	金	750							
	そ	の	他	利	益	剰	余	金	16,210				
		特	別	積	立	金	15,683						
				(本店改修積立金)	(550)								
				(創立80周年記念事業積立金)	(31)								
				当期末処分剰余金	527								
処	分	未	済	持	分	0							
会	員	勘	定	合	計	17,712							
	そ	の	他	有	価	証	券	評	価	差	額	金	285
	土	地	再	評	価	差	額	金	452				
	評	価	・	換	算	差	額	等	合	計	737		
	純	資	産	の	部	合	計					18,450	
負債及び純資産の部合計					273,623								

第83期 損益計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額	
経 常 収 益		5,387,316
資 金 運 用 収 益	4,743,509	
貸 出 金 利 息	3,456,693	
預 け 金 利 息	409,353	
有 価 証 券 利 息 配 当 金	876,048	
そ の 他 の 受 入 利 息	1,413	
役 務 取 引 等 収 益	282,319	
受 入 為 替 手 数 料	163,554	
そ の 他 の 役 務 収 益	118,765	
そ の 他 業 務 収 益	229,337	
国 債 等 債 券 売 却 益	213,576	
国 債 等 債 券 償 還 益	2,976	
そ の 他 の 業 務 収 益	12,784	
そ の 他 経 常 収 益	132,149	
株 式 等 売 却 益	36,187	
金 銭 の 信 託 運 用 益	75,083	
そ の 他 の 経 常 収 益	20,879	
経 常 費 用		4,948,500
資 金 調 達 費 用	672,891	
預 金 利 息	563,033	
給 付 補 て ん 備 金 繰 入 額	78,896	
借 用 金 利 息	30,429	
そ の 他 の 支 払 利 息	531	
役 務 取 引 等 費 用	232,992	
支 払 為 替 手 数 料	39,839	
そ の 他 の 役 務 費 用	193,153	
そ の 他 業 務 費 用	3,792	
外 国 為 替 売 買 損	606	
国 債 等 債 券 売 却 損	2,743	
そ の 他 の 業 務 費 用	442	
経 費	3,290,969	
人 件 費	2,048,654	
物 件 費	1,182,735	
税 金	59,579	
そ の 他 経 常 費 用	747,854	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	358,739	
貸 出 金 償 却	335,665	
株 式 等 売 却 損	16,316	
株 式 等 償 却	340	
そ の 他 の 経 常 費 用	36,791	
経 常 利 益		438,815
特 別 利 益		159,222
償 却 債 権 取 立 益	159,222	
特 別 損 失		21,061
固 定 資 産 処 分 損	1,326	
減 損 損 失	4,553	
そ の 他 の 特 別 損 失	15,181	
税 引 前 当 期 純 利 益		576,977
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	169,726	
法 人 税 等 調 整 額	11,850	
法 人 税 等 合 計		181,577
当 期 純 利 益		395,400
前 期 繰 越 金		63,215
創 立 8 0 周 年 記 念 事 業 積 立 金 目 的 取 崩 額		68,902
当 期 未 処 分 剰 余 金		527,517

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第83期 剰余金処分

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	527,517,557
特 別 積 立 金 取 崩 額	31,097,653
計	558,615,210
剰 余 金 処 分 額	474,006,880
利 益 準 備 金	1,486,050
普 通 出 資 に 対 す る 配 当 金	(年3%) 22,520,830
特 別 積 立 金	450,000,000
(本 店 改 修 積 立 金)	(50,000,000)
次 期 繰 越 金	84,608,330

会計監査人の監査報告書謄本

独立監査人の監査報告書

平成22年5月17日

新潟信用金庫
理事会 御中

公認会計士富岡清嗣事務所
公認会計士 富岡 清 嗣 印
鷲尾博公認会計士事務所
公認会計士 鷲 尾 博 印

私たちは、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、新潟信用金庫の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第83期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びにその附属明細書について監査を行った。この計算書類及びその附属明細書の作成責任は経営者であり、私たちの責任は独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することを含んでいる。私たちは、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私たちは、上記の計算書類及びその附属明細書が、信用金庫法及び同施行規則並びに我が国において一般に公正妥当と認められる会計の慣行に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

金庫と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

新潟市内に広がる23店舗

本店	新潟市中央区西堀通五番町855番地1	(025)222-3111
山ノ下支店	新潟市東区北葉町2番13号	(025)273-6351
沼垂支店	新潟市中央区東万代町4番12号	(025)245-3307
横門前支店	新潟市中央区元祝町4908番地	(025)222-7121
関屋支店	新潟市中央区信濃町1番4号	(025)266-7156
大形支店	新潟市東区大形本町4丁目3番24号	(025)273-8811
白根支店	新潟市南区能登2丁目1番27号	(025)372-2174
大野支店	新潟市西区大野町3364番地1	(025)377-2821
米山支店	新潟市中央区米山5丁目1番25号	(025)241-5100
中山支店	新潟市東区中山6丁目20番17号	(025)275-1151
青山支店	新潟市西区東青山1丁目7番地1	(025)231-6611
鳥屋野支店	新潟市中央区鳥屋野1丁目9番30号	(025)283-4111
松浜支店	新潟市北区三軒屋町15番3号	(025)259-7111
真砂支店	新潟市西区真砂4丁目7番3号	(025)233-1777
出来島支店	新潟市中央区東出来島10番10号	(025)285-6666
姥ヶ山支店	新潟市中央区京王2丁目13番14号	(025)286-3600
石山支店	新潟市東区新石山1丁目10番11号	(025)276-1101
亀田支店	新潟市江南区亀田本町2丁目1番23号	(025)382-3411
春日町支店	新潟市中央区春日町5番1号	(025)243-0777
坂井支店	新潟市西区寺尾東3丁目17番11号	(025)268-1811
物見山支店	新潟市東区物見山2丁目35番25号	(025)274-9611
寺地支店	新潟市西区寺地505番地1	(025)265-5400
ながた支店	新潟市中央区長潟851番地	(025)287-3711



好きです、この街。

 **新潟しんきん**

〒951-8666 新潟市中央区西堀通五番町855番地1

TEL.025(222)3111

FAX.025(228)6310

<http://www.niigata-shinkin.co.jp>

会員の皆様のご意見は各店にて承っております。



本誌は環境に配慮した、古紙配合再生紙と植物性大豆油インクを使用しています。